

校長 だより

～「総合的な学習の時間」実践集発刊に寄せて～

平成24年3月23日

校長 與那覇 健勇

創立62年目を迎えた読谷高校は今や、文武両道の名門校と呼ぶにふさわしい風格と気品を備えたすばらしい学校になったと各方面の方々からよく耳にするようになりました。

部活動での数々の活躍と実績もさることながら、今春卒業した315名の皆さんの多くが第一志望に合格して進路実現を果たしました。忘れてはならないのが、その裏側に秘められた先生方の心血を注ぎこんだたゆまぬ指導とそれに素直にがむしゃらに応えた生徒たちの頑張りです。これらが一つに結集して飛躍的な伸びを生んだのです。これらが縦糸・横糸となり今日の読谷高校の素地を織りなしているようです。

そのような中、決して忘れてはならないのが総合学習での他校に類を見ない充実ぶりです。

反戦・平和を未来永劫に語り継ぐ手作りの「6, 23 平和特設授業」。高校生としての多感で成長著しい中での自分の意見を爆発させた「読高メッセージ」。そして先輩方から直接人生の生き方を学ぶ「読高セミナー」。キャリア教育の先駆けともなる「インターシップ」等、ここに収められた事例集はまさに読谷高校のパワーと元気の象徴です。

事例集をまとめて、製本化していただきました関係職員と生徒たちに感謝します。この事例集が読谷高校の新たな飛躍と発展に寄与することを願っています。